

加賀前田家下屋敷跡(かが まえだけ しもやしきあと)

板橋区登録記念物(史跡) 平成元年3月28日登録

加賀前田家下屋敷は、延宝7年(1679)、加賀藩五代藩主前田綱紀の時に、板橋宿平尾に下屋敷として約6万坪を拝領したことに始まります。その後数回の替地・拝領を経て、最終的には約21万8千坪の敷地面積となりますが、これは江戸に所在した大名屋敷のなかで最大のもので、現在の板橋一・三・四丁目、加賀一・二丁目に広がり、平尾邸とも称されていました。

下屋敷の広大な敷地内には林地が続き、屋敷の中央には石神井川と千川用水の水を利用した大池が横たわる池泉回遊式の大名庭園が広がっていました。区立加賀公園(加賀1-8)は、その大池を臨む築山の跡に造園されています。

下屋敷は、在府時の藩主とその家族の別荘となりました。狩猟や散歩を始め、参勤交代で中山道を利用する前田家の休息・装束改め、さらには家族との対面の場などに利用されました。幕末には石神井川にかかる水車を利用して、西洋式の大砲が製造され、また、調練の場ともなりました。明治期に上知された後、敷地の一部は板橋火薬製造所となり、水車の動力によって火薬が製造されています。



下屋敷御林大綱之絵図 文政7年(1824) (金沢市立玉川図書館近世史料館蔵)

所在地:板橋区加賀1-8-1 区立加賀公園
交通:都営三田線「板橋区役所前駅」徒歩13分